

ジェネリック医薬品を使うと安くなる！！

『はあもにい』2002年5月号でお伝えしたように、安価に提供できるジェネリック医薬品が見直されています。

ジェネリック医薬品とは、日本で最初に発売された薬（新薬；先発品）と同じ成分、同じ効き目で先発品の特許の切れた後に発売させる薬（後発品）のことです。

欧米では一般名（generic name）（成分名のこと）で処方されるため、後発品のことをジェネリック医薬品とも呼んでいるのです。

新薬は、特許を出願してから20～25年間、開発メーカーが独占的に製造販売することができます。しかし、特許が切れれば、その有効成分や製法等は共通の財産となり、同じ成分、同じ効き目の医薬品をより安価に皆様に提供できるようになります。

また、ジェネリック医薬品は新薬の特許期間が満了するまでの長い期間を経て発売されるので、その期間中の多くの使用実績や安全性の定期報告等により有効性や安全性が十分確認されたものといえます。

下表は現在採用している先発品と後発品との薬価の違いを示しました。

先発品		後発品	
テオフィリン錠	15.20	アーデフィリン錠	6.40
ザジテンカプセル	78.20	ケトテンカプセル	16.20

もし、処方せんの中の先発品が後発品に変わったら...

テオフィリン	4錠	→	アーデフィリン	4錠
ザジテン	2 Cap		ケトテン	2 Cap
1日2回 朝食後、就寝前 30日分			1日2回 朝食後、就寝前 30日分	

患者様負担	2590円	→	740円	(2割負担)
	3440円		1100円	(3割負担)

このように後発品の採用によって患者様の負担が減少することが可能となります。

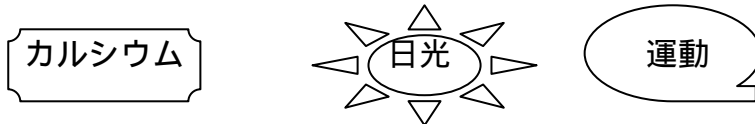
(ただし、負担金額は薬の種類や飲み方によって違いがあります。)



骨粗鬆症になると、骨がつぶれて痛みを感じたり、背中や腰が丸くなったり、身長が低くなったりします。骨がもろくなっているので、転倒すると骨折することがあり、注意が必要です。

日本では、80歳以上の男性のおよそ半数、65歳以上の女性のおよそ半数が骨粗鬆症にかかっているといわれます。

### 日常生活の3原則



予防と治療には、この3つに気をつけて生活することが大切です。

1. カルシウム 骨を強くするには、何といてもカルシウムの多い食事が大切。
2. 日光浴 食事でもったカルシウムを体内に吸収するには、ビタミンDが必要。ビタミンDは日光を浴びると、体内で作られます。強い日差しを避け、木漏れ日程度の日光浴がおすすめです。
3. 運動 吸収したカルシウムを骨に定着させるには、運動も必要。できれば毎日30分～1時間。木漏れ日を浴びながらの散歩が効果的。

### ×転倒 骨折 寝たきり×

骨粗鬆症の人は、少しのことでも骨折します。骨折すると動けなくなり、寝たきりになってしまう場合も……。転倒防止のため、家の中の点検をしましょう。

室内はいつも整理整頓

カーペットの四隅を固定。階段には手すりを。

風呂場には手すりを。

フットライトで足元を明るく。

### 骨粗鬆症の薬

骨粗鬆症を予防したり治療するための薬がいくつかあります。

カルシウム剤 食べ物でのカルシウム不足を補います。

ビタミンD 腸からのカルシウムの吸収をよくする薬です。

ビスホスホネート薬剤 骨の量をふやして骨を折れにくくします。

ホルモン剤 骨の量が減少するのを防ぐ作用があります。